

AWFC:農事組合法人 会田共同養鶏組合									
	項目	項目詳細	基準	現況	自社現況詳細	1step(1年目)	2step(2年目)	3step(3年目)	達成
①飢えと乾きからの自由	飼料	安全性	カビやサルモネラ等に汚染されていない、安全な飼料	○	自家配合飼料。定期的にサルモネラ検査実施。				
		栄養・嗜好性	栄養バランスの取れている 好んで食べる	○	自家配合時にバランス良い餌をコンピューター管理で配合している。年4回配合設計の見直し。				
		給餌量制限の有無	空腹ストレスがかからない	○	給餌制限なし。タイマー給餌。				
	水	水道水・井戸水共通	都道府県別の衛生基準を満たしている	○	年2回水質検査実施。飲用適。				
飲水量制限の有無		潤沢で自由に飲めること	○	天然湧水。制限なし。かけ流しで常に流れている。					
②不快からの自由	飼育環境	飼育面積	1羽当たり550cm <sup>2</sup> 以上(成鶏)である事	○	484~545cm <sup>2</sup> で飼育。				
		飼育方法	エンリッジージ以上	○	平飼い。鶏舎内放し飼い。				
		暑熱・寒冷対策	正常な体温を保てる温度	△	夏は完全開放で扇風ファン・屋根への流水・寒冷紗にて暑熱対策。冬はビニール張りにしてカーテンにより換気。	暑熱対策でファンを増やすか検討。冬期用のカーテンの増設	左記の対策を継続して実施	新たな技術が出来ないか模索する。	基準の達成
		野生動物侵入防止策	動物侵入防止対策を行っている	△	鶏舎壁面の補強・毎日の見回り・柵や抜け穴チェック	壁面の補強を継続。ネズミ対策として捕獲対策を検討中。	左記の対策を継続して実施	新たな技術が出来ないか模索する。	基準の達成
		病原体侵入防止策	病原体侵入防止策を行っている	○	場内には2重の消毒ポイントで入場。鶏舎には防疫更衣室を設け長靴の履き換えと冬期は服の着替えを実施。踏み込み消毒槽で靴を消毒。手洗いとアルコール消毒。				
	新鮮な空気の確保	常時新鮮な空気と交換できる	△	完全開放鶏舎であるが、冬季は寒さ対策でビニール張りをするためカーテンによる換気のみ。	暑熱対策でファンを増やすか検討。冬期用のカーテンの増設	左記の対策を継続して実施	新たな技術が出来ないか模索する。	基準の達成	
床	不快感を感じない床面	(ゲージ)傾斜8度以下 (平飼い)発酵床、乾燥土間による敷料管理	△	オガコ敷きで状態に応じて敷料の追加・ほくしを実施。	キノコ堆肥+酵素による実験を継続	冬季の湿気対策を検討	新たな技術が出来ないか模索する。	通年を通しての乾燥土間の実現	
③痛み、傷、病気からの自由	病気・疾患	早期発見体制	鶏舎見回り・管理表の記載	○	採卵者・管理者が毎日健康観察し産卵率・死亡鶏を日報に記入し異常があれば通報する。				
		予防策	推奨ワクチネーションプログラムの実施	○	指導獣医師の設計によるワクチンを育雛期に実施。成鶏移動後は一切接種無し。				
		疾患鶏の分別管理	疾患鶏の別飼育・適切な投薬	△	隔離	発生に応じて対処	発生に応じて対処	発生に応じて対処	基準の達成
	換羽	強制換羽・給餌休産	絶食による強制換羽の禁止	○	強制換羽なし(構造上出来ない)				
一トリン	断喙の実施の有無	生後10日以内実地・極力避ける	△	生後10日以内実施	無しが可能か検討	無しが可能か検討	無しが可能か検討	基準の達成	
④正常行動発想の自由	道具	止まり木	1羽当たり15cm以上の大きさ	△	鶏舎内に配置。羽数割はしていない(恐らく不足している)ので調査から実施したい。	実態調査・止まり木の増設	止まり木の増設	左記の対策を継続して実施	基準の達成
		砂浴び場	管理された衛生的な砂浴び場	△	専用砂浴び場は無いがオガコの敷料を状況により追加している。	専用の場所が出来るのか検討する	専用の場所が出来るのか検討する	専用の場所が出来るのか検討する	取りの行動に基づいた砂浴び場の実現
	照度	舎内の点灯	暗闇での飼育禁止	△	点灯プログラムにより夜間は人工照明で調整(1日15~16時間)。寝かせる時間は消灯している。	段階的な消灯が出来るか検討。夜間用小玉球で睡眠が疎外されないか研究。	段階的な消灯が出来るか検討。夜間用小玉球で睡眠が疎外されないか研究。	段階的な消灯が出来るか検討。夜間用小玉球で睡眠が疎外されないか研究。	夜間用小玉球の設置
⑤恐怖や悲しみからの自由	屠鳥・安楽死	疾病・傷害鶏の安楽死	炭酸ガス麻酔の使用	×	手締め	ガスの使用の検討	ガスの使用の検討	ガスの使用の検討	ガスによる安楽死の実現
●その他	AW教育	飼育員へのAW教育	農場スタッフのAW理解	△	月1回HACCP会議・鶏舎勉強会実施	HACCP/JGAP研修会を通じて勉強会実施予定	HACCP/JGAP研修会を通じて勉強会実施予定	HACCP/JGAP研修会を通じて勉強会実施予定	全員が理解できるように